

広報 たかもり

発行 阿蘇郡高森町役場

TEL (高森局09676) ②0611・〔代表〕

人 口

— 5月31日現在 —

人 口 10,116人 男…4,826人
女…5,290人

世帯数 ……………2,607

転入 60 出生 7

転出 62 死亡 8

第167号
昭和48年

7月1日

とじておくと役立ちます

おもな内容

第二回定例町議会ひらかる……………	2
今議会で可決されたおもな案件……………	4
いよいよ現地測量始まる(高森線の延長)……………	5
気象予報は常に注意……………	6
四十七年度の町の事業実績……………	7
土地の乱開発を防ごう……………	8
(町農業委員会から要望)……………	9
高森その歴史(畑一町に牛一頭)……………	11
みんながつくる町民のひろば……………	12
町民文芸・おめでたおくり……………	12

夏山シーズン到来

若人待望の夏山シーズンが到来。ことしも各地の山は大勢のハイカーやキャンパーたちで賑わいそう。ここ「鍋の平キャンプ場」でも、今月中旬には山開きします。熊本市から来ている高校生のバikerが、山開きを待ちかねたように、根子岳へ今年初のアタック。

夏の朝は早く、午前七時過ぎというのに、リュックを背負って高原を行く山男たちの顔は早くも汗びっしょり。黙々と歩き続ける表情に、厳しい山への訓練がうかがわれます。



▷ 7月1日 後藤医院 河陽 19
▷ 7月8日 平田医院 高森②0216
▷ 7月15日

馬原医院 高森②0646
▷ 7月22日 東医院 高森②0309
▷ 7月29日 寺崎医院 高森②0378



提出議案を審議する町議員たち

策についてたずねたい。
野尻商工観光課長 国民休暇村



古沢議員
町営水道以外の部落水道等に対してどのような考えをもっているか。

岩下町長 小部落の給水施設はこれまで山村振興事業で草部地区に七カ所の新設を図ったが、ここは野尻地区を完備しなければならぬ。津留部落は簡易水道化する予定だが、ほかの地区も国、県

新規事業から買上げ 町道改修用地

岩下町長 新規事業からは用地の買上げを検討している。ただし継続事業については、これまで同様、部落の協力をお願いしたい。
(次頁へつづく)

国民休暇

第二回

中学校統合は前向きで

町長 父兄の納得が前提



森議員 最近の農道は自動車耕運機などの普及で痛み方がひどい。そのため、受益者が協同で農道を整備し、自費で採石を入れてくれるか。町は、これを公共補助事業の対象としてみてくれるか。また、農道の拡幅等は町がブルドーザーを借り上げ、使用料の七割程度を助成できるような対策をたててほしい。

岩下町長 農道は林業構造改善事業、山村振興、農免などに、よりほとんどの幹線が整備されたが、零細な小規模農道は町の三割の助成で受

津留議員 津留所得についての優遇措置はない。しかし、五十年一月三十一日まで譲渡した場合、基礎控除が一般の場合百万円、分離課税の措置がある。

山村英男議員 中学校統合について、税の優遇措置はどうか。

岩下町長 慎重を期する問題なので、協議会等で掘り下げて検討したい。

山村英男議員 農業委員会委員の定数を削減する改正を行なっているかどうか。

岩下町長 本町は広範囲な地域なので筆数も多く、委員が調査に負担がかかることもなるので、農業委員会等で検討したい。

村誘致など焦点に

定例町議会ひらかる



池田議員 町の工事設計について一部内容に誤りがあるケースが見られる。工事指名については地元業者優先を考慮しているか。また、工期に遅れた業者には厳しい姿勢を示してほしい。

岩下町長 工事指名については町内業者育成の点から地元優先をとっているが、特殊性のものは町外に依存したい。また、工期に間に合わない業者は特令を出して事業の完成を急がせる。

池田議員 国民休暇村の誘致で用地買収が遅れると莫大な用地費が必要と思われるが、それでも誘致する決意があるか。

津留議員 他町村では老人が気軽に出来ることのできる「老人福祉センター」の建設が具体化しつつあるが、町ではその計画はないか。

岩下町長 老人福祉を充実することは重要であり、町では国、県の施策に応じて、これまで七十才以上の医療費支給や敬老年金の七十五才引き下げなど実施してきた。老人クラブも他町村に見られない活発さが見られ、町補助で二十一クラブが活動している。老人福祉センターの建設は必要であるが、僻地の老人福祉を図るため助成金を出して、各地に集会所、



津留議員
町民グラウンドの建設計画はあるか。

岩下町長 国民休暇村誘致が実現すれば、多額の財源を必要とするので、今のところ考えていない。

宇藤議員 財産造成についてであるが、未利用の町有地については、分収率を引き上げてでも植林

用地買収で論議集中 町側 財政措置には鋭意努力

一般質問

第二回高森町定例町議会は、六月十八日から六日間の会期で始まり、一日目の同日は午前十時から本会議を開会、岩下町長から総額六千四百七十一万六千円の一一般会計補正予算案など十三議案が提出されました。審議の結果、いずれも原案どおり可決されましたが、今議会では一般質問で、主に国民休暇村誘致や中学校統合問題などを焦点に論議が繰りひろげられ、傍聴席には町婦人会有志の顔も見られ、熱心に審議の様子を見入っていました。以下、七議員の一般質問の質疑応答の要旨は次のとおりです。

津留議員 町内労働者の賃金、福利厚生など、統計上から調べた施策、指導はやっているか。

岩下町長 現在、町内に零細な中小企業が約二百六十あり、労働者の待遇改善が望まれている。平均労働賃金は漸次改善されているというものの、商工会とともに、

森議員 中学統合問題は、このところ国民休暇村の陰に隠れているが、その後の推進状況はどうなっているのか。

本田教育長 最近では全体的に反対の動きが見られる。校区によっては絶対反対のところもある。その理由として、無理に統合しなくても結構進学に支障をきたさない、義務教育期間は親元におきたいなど、意見もさまざまだが、反対すれば統合されないという考え方もあるようだ。引き続きこんごも父兄への説明、説得を続けたい。

甲斐一誠議員 統合審議会の専門委員の立場から状況を説明したい。各校で再三にわたり意見説明を行なったが、説明会に集まる人は決まっている。また校区によっては、統合すれば何の事業のみにかえりが与えられるかと問いつけるところもある。こんごは全町民のアンケートによる意向調査をやっているかどうか。いずれにしろ九月定例会までに結論を出したい。

(前頁からつづく)
桐原議員 仏舎利塔の建設工事は、現況はどうなっているか。
野尻商工観光課長 塔の設計変更や地盤調査の準備で、石山氏の工事が進捗していない。このころは石山氏が町に定住しているの、連絡を密にとりて早期完工をめざしたい。



桐原議員 農家では、あとつぎ問題や嫁対策で、借金をしてでも住宅の増改築があつてゐる。これらの住宅に対して、町は固定資産の課税を優遇する考えはないか。
加藤固定資産評価委員 評価額は自治省が選定した価格基準によつて算出しているもので、優遇措置はない。

町が素牛導入農家に補助金 一頭当り一万円交付
このところ南阿蘇地区の仔牛市場は高値を呼び大変な活況をみせていますが、町では将来の畜産経営の拡大を図るため、「肉用牛奨励補助金交付規則」を決め、肉用牛の改良増殖を促進することになりました。

◇高森町税条例の一部改正について(専決処分)
地方税法の一部改正に伴い、本町の税条例を一部改正したもので、県町民税について住民負担の軽減を図るため、課税最低限の引上げを行ないました。このほか住宅用地についても固定資産税の軽減措置が図られました。

◇四十八年度高森町一般会計補正予算について
補正額六千四百七十一万六千円を加え、町の一般会計は六億八千九百四十六万六千円となりました。おもな歳出として母子健康センター建設負担金、里木地区(高森中裏)かんがい排水

◇土地買収について(高森小通)
将来の展望の妨げとなりつつあります。このため町が八百五平方メートルの原野を買収して、野草園にしようというものです。

◇道路改良工事に伴い、次の町道の路線内容が変更になりました。
◇宮原・永野原線(延長一・五五九・九九九メートル) 幅四メートル
◇町道路線の廃止について
河原・大戸ノ口線、永野原・下切線、中原・前原線の三町道は、農道整備事業で改良舗装するため、町道廃止になりました。

◇道路改良工事施行について
四十八年度の起債事業として
大字高森の中川原内に町営住宅八戸(一種四戸、二種四戸)が建設されます。

六月町議会可決したおもな案件

学用地として

多々野・牧戸線(二千三百九十三メートル、幅四メートル)

◇町道路線の廃止について

河原・大戸ノ口線、永野原・下切線、中原・前原線の三町道は、農道整備事業で改良舗装するため、町道廃止になりました。

◇道路改良工事施行について

四十八年度の起債事業として

大字高森の中川原内に町営住宅八戸(一種四戸、二種四戸)が建設されます。

◇高森町選挙管理委員会補充員の選挙について

さきに、本町選挙管理委員会

の補充員として四人の選挙がありました。工藤定義氏(下切)の承諾がなかったため、有働義光(永野原)氏が決まりました。

いよいよ現地測量始まる

国鉄高森線の延長工事



南在の現地で鉄建公団職員から工事説明を聞く住民たち

国民年金手帳の検認方法が変更になりました
本年度から国民年金手帳の検認方法が変更になりましたが、加入者のみなさんはご存知でしょうか。
これまで、みなさん方の国民年金手帳は役場が保管し、保険料の払い込みがあると、国民年金係が検認事務を行っていました。しかし、これでは被保険者が各年度の未納、または免除等の納付記録を自分で確かめることはできません。こうしたことから、役場に保管していた国民年金手帳を被保険者に配付し、払い込みの領収書は

副賞10万円を小中学校へ

熊日社会賞の小林医師が寄付

述べました。写真左側が小林氏



近付地団中村に

新高森駅は架橋駅舎へ

日本鉄道建設公団下関支社では、国鉄高森・高千穂線の延長工事を具体化するため、六月上旬から工事実施計画に基づいて、いよいよ本格的な現地測量の作業にはいりました。

これまで地元地権者へ工事計画を説明してきましたが、ひきつづいて軌道用地となる部分のクイ打ちを行ない、境界線引きの確認もすでに完了しています。測量が実施されている場所は、新高森駅が建設される南在の国鉄高森線の無人踏切から村中住宅団地付近などです。同公団の工事計画によりますと、新路線は国道三二五号線に並行した既設路線をそのまま東外輪山まで延長し、十一カ所のトンネルと九基の橋りょうで高千穂線へつなぐ計画です。

と、鉄道は既設路線を過ぎると、トンネルまで畑地を掘り割りして敷設されるため、新高森駅は架橋駅舎となります。同公団では将来の工事に万全を期すためにも高森側に連絡事務所を建設する計画で、すでに国道に面した南在、バイパス入口の水田約九百平方メートルを借り上げる契約がすすんでいます。このころ、国の新線建設に対する予算配分が決まりしだい、同公団では、早急に用地買収にとりかかる方針で交渉が順調にすすめば今年十月末ごろにも起工式をあげたい意向です。五十二年度末までに完成の予定。

第二十三回熊日社会賞を受賞された本町の小林常雄医師(六四)は、このほど役場を訪れ「副賞十万円を町内の小中学校四校と高森保育園に寄贈したい」と本町教育長に申し出ました。

夕食後ひらかれた研修会の模様



県農試の稲作りを見る研修生たち



47年度の町の事業実績

部門	事業名	事業内容	事業費
道	河原～多々野線良線装	L=788m W=4.0m	18,340
	片山～下山線良線装	L=860m W=5.0m	10,900
	永野原～宮原線良線装	L=572m W=4.0m	15,780
	色見環状線良線装	L=1540m W=4.0m	20,972
	倉～水迫線良線装	L=460m W=4.0m	6,000
	下町～冬野線良線装	L=414m W=3.0m	3,115
防	消防施設整備	小型動力ポンプB3級1台	39
		消防自動車A2級85KW1台	2,730
		防火水槽40t2基 30t4基	865
		消火栓改良2基	755
農	農業振興地域整備事業計画		1,000
	開拓パイロット事業	幹線道路(改良)(舗装)	49,600 9,515
	団体営農道整備事業	牧戸～味島 L=1060m W=4.0m	12,000
	団体営農道整備事業	河原線 L=1060m W=4.0m	12,000
	草地改良事業	10ha	3,566
	草地ダマ駆除事業	740ha	9,731
	草地改良事業	8.7ha	1,181
	林業構造改善事業	林道L=924m 資本装備	7,947
	間伐対策事業	資本装備	1,500
	鍋の平キャンプ場整備事業	じんあい処理施設、水道施設、その他施設整備	478
観	高森公園整備事業	つつじ植栽2,000本 遊歩道L=2,000m W0.5m外	1,349
	祖母登山道整備事業	L=7,000m W=1.5m	88
	祖公建整備事業	中原、前原	400
住宅	住宅建設事業	ブロック平家建 8戸	9,933
	簡易水道施設	草部地区給排水施設	57,862
社会福祉	地方改善道路整備事業	コンクリート舗装 L=274m W=4.0m	3,919
教	プール建設事業	25m×8m(1) 5m×10m(1)野尻小中	12,360
	へき地教員住宅建設事業	ブロック建 3戸	3,379
	集会所(同和)建設事業		4,336
	ナイタ施設		3,900

県庁電算室など見学

町主催 新卒者の研修旅行

学校を卒業したあと郷土に残って働いている若者たちを招き、県内の社会公共施設の研修旅行へ案内している町の「産業就業者研修会」がことし六月五日から二日間の日程で催されました。

この研修会は、私たちの生活に密着した各施設を見てもらい、広い知識で将来の町づくりに役立ててもらおうというもので、ことしで三回目。町内各地から二十二人の新卒者が研修生となって参加しました。

第一日目は、午前八時半に高森産交ターミナルに集合したあと、町が用意したバスに便乗して西原村県営公共育成牧場の大型真空サイロや、熊本県庁では、県議会会議場などを見学しました。また、県庁ではこのほか知事室、貴賓室、コンピュータ室にも案内され、研修生たちにとっては有意義な半日となりました。

翌二日目、午前八時半に同宿舎を出発、熊本市の県農試に立ち寄り、稲の試験栽培地などを見学、午後市内で休憩して帰途につきました。研修生の大半が「大いに社会勉強になった」という意見でした。



ので十分注意すること。
△地すべりの予知
地すべりのおこる前には、次のような現象がよく起こる。
①地下に住む小動物が家屋内にはいる。
②井戸水、わき水、ため池などの水が急に上がる。
③水田の水もちが悪くなる。
④木の根がさける。
⑤急傾斜面に亀(き)裂が生じる。
⑥地鳴り、家鳴りが聞える。
⑦地すべりの起る数日前山崩れの岩石がボロボロ崩れおちる。
したがって危険な所に住んでいる人は、十分注意すること。
⑧地すべりや、ガケ崩れが発生したときは、土砂の流れる方向と直角の方向で安全な所にすみやかに、避難できるように準備しておくこと。
△避難する時の注意
①平素から避難場所と安全な道順とをよく覚えておくこと。
②町から避難準備の勧告や指示があったらいつでも避難のできるよう準備すること。女子、子供、老人、病弱者は早めに避難命令がでたら、まず火の始末をし、戸締りを完全にすること。
③携帯品としては、非常食糧、飲料水、医薬品、貴重品、認め印現金、着がえの衣料、夜間には懐中電灯が必要。
④単独行動は避け、責任者を中心に老人や子供を先にして家族または、隣近所をろって避難するようにすること。
⑤避難の指示はサイレン、半鐘などによるほか、伝令によって行なわれることになるので、十分注意しておくこと。
△災害時の備えに
①照明用具―ヒモをつけた懐中電灯、ロウソク、マッチ、ライター。
②食料―飲み水、水筒、パン類かん詰め。
③炊事道具―七輪(コンロ)木炭
④応急医薬品―マキユロ、リパノール、メンソレタム、脱脂綿
⑤容器類―ふろしき、リュック
⑥情報手段―地図、トランジスタラジオなど。
⑦その他―ヘルメット、ズキン座布団など。

気象予報は常に注意 前もって避難場所を

△一般的な注意
①ラジオ、テレビで放送される気象情報ならびに防災上の注意事項をよく聞き、その内容に応じた対策をたてること。
②いざというとき、自分の家族がどこに避難したらよいか、避難場所を確認しておく。
③隣近所の人との連絡方法をきめておく。
④洪水警報や避難の命令などがどういった経路で自分のところへ伝達されるか確認しておく。
△水害の恐れには
①土は高い台の上に積み重ねること。
②たんすは、引き出しを抜いて高い所へおくこと。
③押し入れの下段のものは、なるべく上段に移すこと。
④電気、ガス、その他の家財道具の処理をすること。
⑤学用品の保存に注意すること。
⑥河川の近くに住んでいる人は川の水深に注意すること。
⑦大雨が長く続くと地盤がゆるみ、ガケ崩れの起こる危険がある。

町では若い力によって魅力ある農業経営を営んでもらうため、このほど自立経営農家の新婚夫婦五組に額面三万円の定期預金証書を贈りました。

これは最近どの農家も出かせがふえ、あつぎと嫁不足に悩んでいる現状から、その解消策として町が四十七年に「農業後継者育成補助金制度」を発足させ、後継者の育成にあたっているものです。今回は二回目で、すでに八人が預金証書を受け取っています。こんど交付された農家のほとんどはオメダタも近く「思わぬ小使い」で二重の喜び。生れた赤ちゃんのために有意義に使わせてもらいますと語っていました。

第二回目の後継者育成補助金を受けた人は次のとおりです。(敬称略)
▽岩下満江(色見、山鳥)▽下田明美(高森、森)▽佐藤多喜子(片口)▽佐藤和代(同)▽本田ミ子(中、祭場)▽写真は岩下町長から証書を受け取る本田タミ子さん(左)



農家の嫁さん頼みます

町から 新婚五組に預金証書

雷のときの注意

落雷の多いシーズンです。落雷器具を破壊したりします。落雷雷は火災をひき起したり、人命を奪ったりします。このように雷は非常に高圧の電気で、家の近くの配電線や引込線などに落ちると、一瞬にして、高圧の電気が家の中に入りこみ火災を起したり、家の中の電気

雷のときは、テレビ、特にテレビはアンテナと接続してあるフ

イダー線は必ずしも忘れないようにしてください。(九電高森営業所)



色見農民の農業生活を書くうえにおいて決して取り残すことのできないことは、畜産に対する比重

畑一町に牛一頭

本田 耕亮

阿蘇地区において牛馬を飼育するということは、単に遊休草地の利用といった安易な考えから出発した場あたりの農民の智恵では決してない。それは農業を営む上において、牛馬を保有することが絶対必要であったのだ。それも肉用として単なる経済上の目的のためのものでは決してなく、当時、農耕機具に乏しかった時代の使役



< 3 >

では四月からシリーズで町文化財保護委員会の諸先生にお願いして「高森その歴史」を掲載していきます。

郷土の歴史を学び、郷土の先哲が残した偉業を偲ぶことは郷土を愛する町民にとってきわめて大切なことです。数多くの名所史蹟に恵まれたわが高森町の歴史を知るため、本欄

色見地区三カ所に 阿蘇登山の案内板 町商工観光課が設置



山鳥部落に案内板を立てる町職員

夏山シーズンを迎え、登山者が道を間違えないようにと、町商工観光課は、このほど阿蘇中岳の登山口にあたる色見地区に、登山概

町農業委員会から要望

高森町農業委員会では、いま農業関係諸団体と連携をとり、「土地と農業を守る運動」を展開しています。

これは大企業を始めとする農外資本による土地買い占め、乱開発が全国的に進み、農業用地が破壊され、農業の将来が憂慮されている折から関係各団体が農家と協力して土地確保につとめ、従来どおりの農業基盤の確立を図ろうというものです。現行の農地法では、他目的の

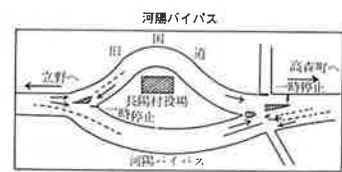
土地の乱開発を防ごう

「ご存知ですか「土地と農業を守る運動」

用地区域、開発を抑制すること原則とした市街化調整区域内の土地などがあり、委員会では運用面においても厳正な指導を行なってきました。また市街化

このように制度的な土地利用の規制を別にすれば、土地を売る、売らないは最終的には個人の自由です。したがって、この

運動は、ただ「土地不売」をめざすのではなく、農家の規模拡大や経営合理化のための集団化、マイホームづくりの宅地造成、あるいは公共団体等の地域開発は認めようというものです。



- △カーブでのスピードの出し過ぎは危険です。
- △旧国道からバイパスに出る場合は、必ず一時停止をして下さい。

念図(案内板)を立てました。色見から登るコースは、沿線にミヤマキンマが美しい丸山や、クリカラ谷、また、周囲にサラ石が散在する皿山など景勝地が多く、そのうえ、この一帯からは南郷谷と南阿蘇外輪のすばらしい遠景が望めることから、近年しだいに登山者がふえています。

こんど立てた案内板は、五、六年前、町で立てた標木がペンキがはげたり、根もとが腐るなど役立たなかったため新しく立て替えたものです。案内板は同地区の中国山鳥の両分岐点と国道二六五号線ぞいにある上色見農協前に立てられました。

同課では、こんども引き続き案内板をふやす予定で、祖母登山や根子岳へ向う登山路の難所も新しく立てることにしています。

河陽バイパス 通行でご注意

高森署だより

長陽村「河陽バイパス」の通行と、阿蘇大橋から国道五七号線に出る場合の通行は、次の略図の方法で行ってください。

河陽バイパスは、高森側も立野側も進入路が坂道になっていて、旧国道三二五号線と分かれていたため、バイパスへ進入するさ

い、スピードの出し過ぎは危険です。近く小学校、保育園などもある、園児児童も通行していますので、徐行を励行し、路面の交通表示に従って正しく運転して下さい。

また、阿蘇大橋から国道五七号へ出る場合、とくに左折して大津方面へ抜けるさいは、ロータリー横で一たん停車を励行し、赤水方面からの後続車をよく確認して下さい。交通事故の起きないように、皆さんのご協力をお願いいたします。

牛としての必然性から出発したものである。

「畑一町に牛一頭」——この言葉は、畑一町を所有耕作するために一頭の牛がどうしても必要であるという意味である。このように三町の畑には三頭、五町の畑には五頭といったバランスが常に保たれなければならない。

な過重労働を強いる結果となり、さらには適育期に敏感に反映する各種作物の生産過程における手加減に、大きな穴をあける結果になるのである。長い期間つちかわれた貴重な体験は、各自の耕作反別の広さと牛馬保有頭数のバランスをうまく計算立てしており、ムダがないのだ。

ように畜産との関連を眺めた時、考えなければならぬ重大なことは、他町村との比較に見る労働と労働時間の増加であり、人間の労働力の限界の問題である。

つまり、平均三町(中農以上は五、六町)の家には牛馬が三頭必要であり、五町には五頭が絶対必要保有頭数だったのだ。それはまことに過重な労働力であり、労働時間であった。『写真は牛を使

日本の倍償金で作った日比親善道路のすばらしいハイウェイを走り、モンテンルベへ行く。

昔、日本軍が使用した補給収容所は、今では刑務所となり、そこでは黄服を着た囚人が服役していた。広大な敷地は農園みだいだ。そこには熱帯植物が樹立し、緑がさえてとても美しい。

九州青年の船に参加して

二子石 文雄

改良や機械導入を働きかけても原住民の労働意欲は薄いという。また、この国では全日制の学校へ通学している子どもは少なく、二部制(午前と午後)が多い。言葉は民族語、国語、英語と複雑で、民族も六ないし七民族が共存している。給料は安く、大学卒のほとんどは外国へ

行ってしまう。労賃は一日八ペソ(四百円)が標準。われわれが旅行者だとわかるとカメラマンがついて回る。希望者に一枚を三ペソで売ってくれる。希望者が買いたい物は香港より安い。指定された店では、ジュースを飲んでもサービスはよいが少し高い。かえって指定外の方が楽しい。「ユー友だち」と気軽に話しかけてきてはうまく商売をする。木彫りの民芸品は、日本の%から地味で買える。夜は船まで売りにくるものさえない。

ところで、日曜日のリザール公園やナヨフィリピンは家族連れでにぎわい日本の祭りみたいだ。われわれに食事をすすめてくれる人もいる。お札に五円硬貨を渡すと大変喜んでくれる。

お知らせ

お知らせ

身障者の巡回相談は7月11日に

本年度の身体障害者巡回相談を次のとおり実施いたします。対象者はもれなく受診してください。

〔日時〕七月十一日午前十時から午後四時まで（受付は一時まで）
〔場所〕高森町畜産センター
〔診療科目〕眼科、耳鼻咽喉科、整形外科、補装具相談（内科は実施しません）
〔診察内容〕更生医療、補装具および身障手帳の交付申請、施設入所、職業生活、一般医療の相談、補装具の作成修理など。

7月31日に砂利採取業務主任者試験

県では砂利採取法の規定に基づき、四十八年度砂利採取業務主任者試験を次のとおり実施します。
〔試験日時〕七月三十一日（火）午前十時から
〔試験場所〕熊本市水前寺公園二十八番五十一号 むつみ荘会議室
〔試験科目〕①砂利採取法および関係法令②砂利採取に関する技術的な事項（筆記によるもの）
〔受験願書受付〕七月五日から七

月十五日まで。提出書類は①業務主任者受験願書②履歴書③写真（手札型）熊本市収入証紙千円が必要。※受験願書の提出先、おたずねは熊本市水前寺六丁目十八番一五〇番 熊本市庁工務課まで。

戸籍手数料を改正

関係政令等が改正され、七月一日から戸籍手数料が次のとおり改正されました。

色見地区で巡回行政相談

18、20日の両日

国、県、町の行政について、皆さんが困りになっていること、わからないことを解決するための巡回行政相談が、次のとおり開かれます。どうぞお気軽にお出でください。

23日から町内で老人の健康審査

老人福祉法による老人健康審査が七月二十三日から始まります。高血圧症、心筋障害、肺気腫、胃疾患、リウマチ性疾患、四肢機能障害など老人に比較的多い疾病に關して可能な限り綿密な診断を行ないます。経費は無料です。六十五才以上の方は、ぜひ受診してください。日程は次のとおりです。

▽七月二十三日午前九時半～十時半 河原集会所▽同日午後一時半～二時半 野尻集会所▽七月二十四日午前九時半～十時半 草部北集会所▽同日午後一時半～二時半 草部出張所▽七月三十日午前九時～十時 高森保健所▽七月三十一日九時半～午後二時 同所▽八月二日九時半～十時半 上色見小▽同日一時半～二時半 下色見農協

恩給担保貸付のご案内

国民金融公庫熊本支店では、恩給、扶助料、遺族年金、共済組合年金などの受給者の方に、これらを担保として資金融資を行なっております。融資額は五十万円以内ただし、手取年額の三分以内です。利率は年六割。申し込み手続きは①借入申込書②支給状態証明書（いづれも公庫備え付け）③戸籍簿本（家族加給がある場合のみ）④本人と保証人の実印と印鑑証明書⑤保証人が必要です。返済は担保として預かって恩給等の支給金を公庫が代って受けとり返済金にあてます。

取り扱いについては、恩給等の種類、貸付の時期によって取り扱いきれない期間がありますので詳しいことは窓口でおたずねください。

みんながつくる町民のひろば

声



このらん「声」はみなさんのページです。よりよい高森町を築くために建設的なご意見をお寄せください。

高森の土産品づくりを考えよう

野尻南部婦人会長 甲斐恵美

いまから十数年前、私は栃木県日光のいろは坂を登って彼の地を旅行致して感じたことですが、私の住む阿蘇高森町も周辺の景観

は、たしかにそれ以上といった位価値があるのに、PR不足というか、その良さが注目されず、いまやつと南阿蘇開発の陽の目をみようとしています。しかもその中で、貧弱町村の一つであった私の町が、幸い関係各位のご努力により、近々町内に国民休暇村が誘致され、また蔵地台地には七十億円にものぼるといふ大型レジャーランドが計画され、人の往来も次第にふえるのではないかと明るの期待がもたれています。ところで人が旅して一番感じるものは、その土地の名所、史跡、のちの名物や、記念になる土産品ではないかと思ひます。幸い伝統あるわが郷土の風物には至る処に売り出されて

ありますが、ほかにめばしい土産品はありません。色見の田楽祭や鍋の平キャンプ場、或は野尻の幻（まぼろし）のカモシカ、大谷ダムの釣、祖母や越後の山登り、多々野原や尾下の獅子舞、また由緒ある草部吉見神社や古城跡、その他数えて行けば限りもない。沢山のすばらしい材料は恵まれているのに、それにちなんだ土産品はありません。私は住民の一人としてそれを決してむずかしいことではないと思ひます。もちろん商品価値が出来るまではそれ相当の工夫や日数も当然いると覚悟せねばなりません。このさい町当局へ積極的な指導をお願いしてみんなでの高森特有の観光土産品の開拓を急がねばならないと

よみがえらせた別所の堤の桜

高森町横町 森川 蘇 麓

近ごろの別所の堤の荒廃ぶりに心を痛める住民の一人である。別所桜多くの先人達が、心をこめて苗を植樹し、往時は桜の名所といわれたところである。しかるに現在は見るもあわれ、面影を残す桜の古木は数本とない。牛馬のつなぎ柱になったり、枝を折られたり、虫害などによって枯死したものである。

おたずね

コーナー

【問い】 私は数年前に夫と死別し、母子三人はそぼそと暮らしていますが、住家が古く、この梅雨期には雨ももするたため、少し改築修理したいのですが、資金の貸付け等についてお知らせください。――主婦――

【答え】 配偶者のない女子で現に児童を扶養しているもの、および、これに準ずるもの、または四十才以上の寡婦等に対しその経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、あわせてその扶養している児童の福祉を増進するために、母子福祉資金の貸付け制度があります。資金の種類はいろいろありますが、おたずねの住宅改修、または補修する場合は、住宅資金

として貸付け額三十万円までで六年償還、利子が三割となっております。また、町としましては、このような国の制度に準じて貸付けを行なっていますが、限度額は五万円までとなっています。償還は三年ですが無利子です。町の場合は十分資金もありますので、ご遠慮なくご相談ください。



虫歯予防ポスター

河原小六年

岩下 錠司

町民文芸



肥後狂句

俳句

旅終えて安らぐ我が家蛙鳴く
友と聴く山の湯宿のホトトギス
老梅も精一杯の実をつけし
葉桜や茶店しましい城の跡
梅雨晴間峯に雪置く阿蘇五岳
初咲きの泰山木の花白し
議会場所のこもりし梅雨の窓
ためらいつためらいつ切る百合の花
まだ青き紫陽花に雨色そえし
遅れ来て庭石つたい杜鵑花句座
峠越え果てしなき野や月見草

菜の花句会六月例会作品抄

那 須 きぬ子
住 吉 ながえ
内 田 あや女
松 岡 信子
柴 田 ふい子
平 田 り子
桐 原 寿
古 庄 泰子
岩 下 扶美
林 村 久恵
山 村 ふみ子

御神火五月例会人選句

ピンチ、水源保安林の減り
毛の生えて、読書熱まで色気づき
盲点、悪に温床作らする
元氣者ン喜寿の祝いに富士登山
ピンチ、空から輸血する離島
若い二人、忠告すると火傷する
元氣者ン、入社してすぐ武勇伝
父ちゃんの、さぞ今頃は眠かろう
若い二人、もう親なんか不用品
ピンチ、三人私立大にやり
父ちゃんの叱らす時ア危かつ
ピンチ、とうと手離す発電所
夏姿、スタンドは白真一ッ色
遊びたけなわ、どの忠告も耳貸さん

浦 塚 南天
林 田 一声
岡 本 琴司
本 田 紫郷
馬 原 馬笑
林 田 瑤子
白 根 音狂

雑詠

鍋の平五首 蘇水生

ふる里の 鍋の平に 今日もまた
翁草咲く 薄曇りして
馬頭観音 旗なびかせて詣でにき
いとけなき日の 友よなつかし
若草を踏み 馳けりつ 三等の
旗手に笑みし 六才のわれ
大阿蘇は 今日も晴るるか
外輪の
山膚被み 彩雲の湧く
キャンプ客 去にて寂びしけり
広き野の
疲れし芝に 秋風わたる

おめでた おくやみ

昭和48.5.16~昭和48.6.15

(保護者)		(出生児) (性別) (生年月日)	
住吉	光司	男	48.5.15
山田	誠修	男	48.5.16
本川	徳美	女	48.5.25
岩下	克己	男	48.5.29
勝木	友盛	女	48.5.29
宇藤	優生	男	48.6.1
白石	民生	女	48.5.11
田上	更生	女	48.5.14

昭和48.5.16~昭和48.6.15

(遺族)		(続柄) (死亡者) (年令) (死亡年月日)	
後藤高	昭	母	73 48.5.27
堀山キ	子	夫	60 48.5.27
秋吉重	夫	父	74 48.6.3
金瀬国	雄	養父	76 48.6.8
本田吉	郎	母	83 48.5.27
大村今	朝徳	妻	28 48.6.10
田中	生義	祖母	86 48.6.7

香典返し

ありがとうございます

次の方がたから心暖かいご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。

〔一般寄付〕

▽このほど大字高森、南在の老人クラブ「わかば会」から高森小学校に高ボールキ二十本とゾーキ一百二十六枚をいただきました。

▽広島県で働いている草村豊治さん(野尻出身)から「恵まれな

い人のために」と、千円が町社会福祉協議会へ贈られました。

〔香典返し〕—敬称略—

旭通 (住吉 ツヤエ) 一万円
森 (後藤 ハズエ) 五千円
旭通 (秋吉 常光) 五千円
村山 (金瀬 太七) 五千円
金瀬 国雄